

ユーザー探訪

セイフティレコーダで、個々の安全運転意識が向上

共立輸送株式会社 殿

本社 安全管理本部 取締役本部長 園田 良彦様にインタビュー



共立輸送株式会社

本社所在地：〒136-0071 東京都江東区亀戸6丁目58番地10号
TEL 03-3682-5231 (代) FAX 03-3681-3730

営業所：大衝・仙台・群馬・鹿島・白井・市原・川崎・名古屋・大阪

設立：1954年2月13日

代表者：代表取締役社長 瀬尾 君雄

事業内容：一般貨物自動車運送事業 貨物運送取扱事業 自動車整備事業
不動産売買 賃貸事業

従業員数：545名

車両台数：502両

SR導入：2005年 4月 SRPocket 200台
SRcomm 40台
2007年11月 SRPocket 180台



会社概要

全国でも数少ない特殊大型車両を多種所有。1954年の設立以降、重厚業へと大きく変化した高度経済成長の中、お客様にお応えするため鉄輸送を中心に輸送事業を展開。産業物流の底辺を支えながら、着実に成長の歴史を刻んでいます。

社会の要求は、時代の変化と共に高度化し、自然環境に負荷をかけない事業経営、そして高い倫理観を求められる時代。法が定めていない部分にあっても、倫理とフェアの精神で判断する会社を掲げ、哲学を貫いています。

自分の幸せは『汗を流した量に比例する』。少しずつ品位を高めることができる、愚直に働く労働者集団を目指し、今日もひたむきに努力を重ねます。

SR導入の効果

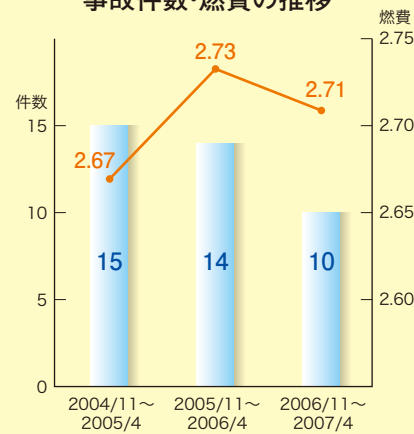


SR導入の経緯

事故防止のためにSRを導入

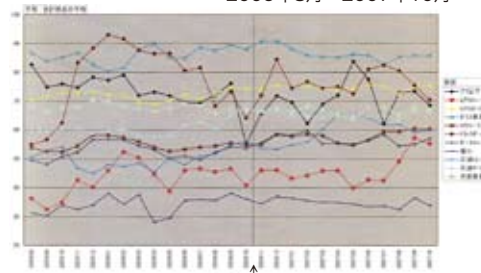
500両を超える特殊な大型車両を走らせるため、一つ事故が起こると規模が大きくなり、社会的責任も重くなる。事故はもともと軽微なものを含め少なくは無かったため、以前より速度超過に対し厳しく指導していた。しかしそれだけでは足りず、さらなる事故防止策が必須と考えた。SRを導入することで、ドライバー本人たちも安全運転の意識が高まり、事故防止につながる。事故防止は「企業として安全性を評価される」・「実質的なコストダウンにもつながる」という好循環を期待し、SR導入を決定した。

事故件数・燃費の推移



車種別点数推移

2005年8月~2007年10月



2006年11月 褒賞制度スタート

SR導入当初の悩み

SRについての認識不足もあり、思っていたようにデータを取ることができなかった。現場からは「こんなもの使えるか!」といった罵声まで出るほど。とにかく「まずはデータを取らないことには、前へ進めない!」と、現場を説得。何度も営業所に通い、話し合いをもった。

多数の大型車に導入する稀なケースであったため、データ・テックと協力し、データ検証を6ヶ月間行うことに。このフォローアップ期間の中で、共に意見をぶつけ合い、改善を繰り返した。

車種や地域で有利不利があるという意見も出た。

現在の状況

車両の特性を把握している人は、SRの点数も高い。営業所の取り組みでSRの特徴を確認し、車種・車両の特性と併せて理解すれば、ちゃんといい点数が出ることもわかってきた。ドライバーの意識が大きく影響していることもわかってきた。ただ熱心な営業所ほど「がんばっても仕方がない。(当時は査定追加等なかった)」と点数が下降ぎみのため、ドライバーの意識を持続させる策として、2006年11月より褒賞制度を設けた。(月額200万円)

SR運用体制 導入時～現在の変化

	本社	営業所
導入時	○安全管理本部と代理店担当者が、全営業所を訪問し、ドライバーにSR導入説明を実施 【具体的な取り組み内容】 ・本社安全管理本部で点数を集計、グラフ化	・本所で作成した点数、グラフを掲示
現在	・1回/月の全体会議で全営業所の数値を発表 ※他営業所の数値と毎月比較することも大切! ・各営業所の集計数値をまとめる ・SRソフト使い方を指導 (社内PC、リモート操作が可能)	・点数集計・分析を実施 ・SRの運用方法は営業所に一任 各営業所ごとに工夫し、活用している

がんばれば、皆でもらえる!『エコ手当て』

5,000円/月を獲得できる!褒賞制度

- ◎当月実績点数(本人)が過去1年間平均(本人)をクリア
- ◎営業所別・車種別基準点をクリア

個々の意識を高めることが趣旨。本人実績平均の維持、また向上を目指してもらうことを目的にしている。毎月約68%のドライバーが褒賞の対象となっている。現在見直しも検討中。改正省エネ法や原油高騰など、環境への対応も必須。定常走行と波状走行の差に影響する「スムーズ」の点数アップや急操作、急アクセルなどについても組み込めるものになりたい。

お互いを認め、支え合う。バツグンのチームワークの

鹿島営業所にお邪魔しました

2007年6月1日に営業所を移転。白い壁がひきたつ真新しい営業所の中は、笑顔があふれるアットホームな雰囲気。SR運用を軌道にのせるまでの取り組みや苦労話(笑話も!)を山本係長、柳堀係長、田口班長にお伺いしました。

Q1 鹿島営業所の取り組みの特長を教えてください

25年のベテランドライバーに運行管理者になってもらう、これしかない!と本部も交えて、当時、共立輸送で点数No. 1の“匠”、柳堀係長を説得。データを細かく分析する知能派の山本係長とそのデータを運転状況に置き換える柳堀係長の二人でSRを研究するところから始めた。

車種を見たら、こんな波形が出るだろうな、と予測がつく。実際に走ってみたら、思った通りのデータが出る。色々な運転ごとに出るデータを確認していこうと試行錯誤を重ねた。

山本係長の運転設定「ここで、こうして、ブレーキを何回踏んで・・・」柳堀係長は、その設定とおりに確実に運転する。やっぱり思った通りのデータが出る!こんな車両の特性とSRの特徴を確認する作業を徹底的に行い、一つひとつクリアしながら進んだ。

また、ドライバーの“匠”と呼ばれ、慕われている柳堀係長だからこそ伝えられる、運転についての微妙なニュアンス。これを田口班長に伝授し、営業所全体に広められたことが何よりも大きい。

SR平均点
76.6点!

共立輸送株式会社

鹿島営業所
〒314-0115
茨城県神栖市知手3061-22
TEL: 0299-90-5118 (代表)
FAX: 0299-96-7872
従業員数: 26名
保有車両: 25台
SR導入: 2005年4月
全車両にSRPocket



左から 大野所長、柳堀係長、鎌田顧問、田口班長、山本係長

Q2 取り組み成功の秘訣は!?

もともと会話が常にあり、仕事以外のことでも、何でも話す土壌があった。中だるみの時期も、皆で相談。例えば、いつも行っていた点数の掲示を一時的に止め、逆の刺激を与える作戦をとる。ドライバーは、点数がわからなくなると、不安になるのか、戻ってくるなり「今日の点数は!?’と自ら聞きにくるのだ。営業所みんなで『エコ手当て』をもらおう!』と取り組んでいる。



ドライバー田口班長にインタビュー

Q1: SR導入で思ったこと

ドライバーは、もともと管理されるのが嫌だから、この仕事に就いている人が多い。SRは、管理や束縛のイメージがあって嫌だった。今は慣れた。普通に走っていればいいだけ。安全を守るためのものと理解している。

Q2: 毎日の安全運転のコツは?

イライラしないこと! ラジオを聴いたりしてリラックスしている。毎朝、出発するとき、営業所入り口の緩いスロープで踏み1発目のブレーキで自分の今日の状態がわかる。「おっ!今日はスムーズだから、調子は上々!」とか、同じ車に乗っているのに「カクン」ときたら「あ〜。今日はダメかも・・・」と思うときもある。

Q3: 燃費はよくなっていると感じますか?

感じる! 同じ遠方に出かけた後、以前は200㍓給油していたのに、180㍓の給油で済んで驚いた。

Q3

点数を上げるための効果的な 運転方法を教えてください

一般道路はテストコースではない。自分だけが走っているのではない中で、周囲にどう合わせるかが求められる。気持ちのコントロールができない人間が、つまらないことをする。イライラしないで運転すること。

また、100点を取りなさいとは言わない。危険を避けるために、やむを得ず急ブレーキ、急ハンドルをすることだってある。高い点数になる運転操作をしていれば、突然の飛び出しにも止まることができる。

基準点をクリアし、毎日100点に近づくように運転すること。鹿島営業所では、80点以上が出れば道路環境に合わせた安全運転をしていると言えると思う。

点数が上がる運転

- ・直角に曲がる場合、20km/h以下
- ・緩やかなカーブ50 km/h以下
- ・トレーラーは、右左折は速度を十分に落とし、ゆっくり操作
- ・交差点では、車の流れに沿って走るのではなく、しっかり減速してゆっくりハンドルを切る



「車両の特性を知り、おだやかに安全運転をすれば、どんな車種でも高得点は取れるよ!」

ドライバーの「匠」
柳堀さん
(写真中央)

Q4

SRについて率直な意見を聞かせてください

導入当初は、相当な意見が出た。本社安全管理本部とケンケンガクガクやりあった。SRは、管理するためのものではない、安全を高めるためのもの。安全を守るためのツールだと納得して取り組みをスタートさせた。今でさえ、一般的にドライブレコーダ設置車が普及してきたが、共立は1歩早かった。本社の指導方針がよかった!

このエリアでは「共立の車は遅い」と、かなり有名。当初は、後続車にあおられたり、嫌な思いをしたドライバーもあったよう。対策として、急ぎたい後続車の雰囲気を感じたら、「速やかに左に寄せ、道を譲り、お互いに気持ちよく運転しよう」と営業所の方針を持ち、みんなでがんばった。安全運転推進に貢献していると思っている。今では逆に「共立の後ろにつけば大丈夫」と言われるほど。SRは、なくてはならない存在になっている。

SRレポート

九州地区 セイフティレコーダセミナーレポート

2007年12月11日(火) 13:30~17:00
in 福岡国際会議場

【セミナー内容】

1. ご挨拶 (株)データ・テック 福岡事務所長 松本 和宜
2. 「ものづくりのプロから生まれた『セイフティレコーダ』
— どのようなメリットを実感していただくか —
(株)データ・テック 代表取締役社長 田野 通保
3. SR導入事例紹介「組合の事故防止対策におけるSR活用について」
4. 運転診断結果などのデータの見方について
5. SR導入活用事例紹介およびQ&A

「組合の事故防止対策におけるSR活用について」

九州トラック交通共済協同組合

安全推進部 課長 嘉村 公成 様

【SR運用】

- ・組合員に1週間貸し出し、データを収集してもらう。
- ・得られたデータを元にした講習会の開催。実際に撮れた動画による講習指導、点数結果を渡す。
- ・講習会を行わない場合は、運転診断結果の点数一覧、自社で撮れた動画をもとに安全運転のポイントを作成し提供。

【SR導入のメリット】

- ・ドライバーから自発的に「こんなことがあったから動画が撮れているかもしれない」と映像を見る前から、ヒヤリハットの報告が出てくる。
- ・意外なデータが取れ、実際の運転状況をつかめることもある。(指定外道路の走行、信号無視、いねむり運転、など)
- ・道路の状況が映像でわかるので、「この場所では、こういう運転を心がけてください」と説明しやすい。(ETCレーンが中央にある危険な場所、必ず動画が撮れるカーブなど)
- ・カーブでの動画を持ってくるドライバーが多いため、カーブでのスローイン走行の必要性が指導しやすい。



九州トラック交通共済協同組合

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東1-18-8 (福岡県トラック研修会館内)

TEL: 092-451-7865 FAX: 092-472-5888

SR導入: 2007年5月 SRVideo 10台

2007年12月現在 約400車両に取り付け実績

※運用前に、1ヶ月間共済内で職員が設置し、テストを実施。
どんな機器が実際に試し、慣れた。

まとめ

これまでの安全講習会は座学が中心だったが、事業者の実走行データ(動画)をもとに、講習を行うケースが増加した。具体的に運転操作や道路環境における注意点を指導できるため、事故防止に役立つことを期待している。

第6回 SRお客様交流会のご案内

各社の具体的な活用方法が詳しく聴けると
毎回ご好評頂いております「SRお客様交流会」を開催いたします。
ご参加をお待ちしております。(事前登録制)

◆日時 2008年2月22日(金)
11:30~19:00

◆会場 大田区産業プラザ PiO 4F
コンベンションホール

内容(予定)

●受付 11:00~

●ご講演

「SR(セーフティレコーダ)を活用したリスクマネジメントサービス」
オリックス自動車株式会社 リスクマネジメント室 マネジャー 石原 栄二 様

「セーフティレコーダと環境整備で利益を生む仕組みを作る」
奈良低温株式会社 代表取締役社長 川村 信幸 様

「SR(セーフティレコーダ)導入から活用まで」
共立輸送株式会社 安全管理本部 課長 小林 健郎 様

●新製品のご案内

●懇親会 17:30~

●閉会 19:00

参考 第5回SRお客様交流会(2007年7月)
(前回実績) <37社 49名ご参加>

【ご講演内容】

- セーフティレコーダ(SR)活用の効果
北三運輸株式会社 殿
- 埼玉協の取り組み安全自動車づくり
社団法人 埼玉県トラック協会 殿
- 筋肉痛の緊張をほぐし、リズム感を持って仕事に従事する
職業能力開発総合大学校 東京校 殿
- 組合の事故防止対策におけるSR活用について
中部交通共済協同組合 殿

新製品
発表!

SRにデジタル式運行記録計(国土交通省認定)
を内蔵した一体型セーフティレコーダデジタコ
を開発し、発売いたします。

満を持して登場! SR DigitachoTM セーフティレコーダデジタコ

<商品ラインナップ>

SR DigitachoTM セーフティレコーダデジタコ



セーフティレコーダ(SR)にデジタル式運行記録計を内蔵。
デジタコ認定基準を満たしたデータと、従来SRの安全・環境・効率のデータの双方をカバー。

SR Digitacho+TM セーフティレコーダデジタコプラス



SRデジタコにドライブレコーダ機能を追加。
危ない運転を動画で記録するだけでなく、
日常運転を静止画で確認することができます。

※詳細は2月22日のお客様交流会にて発表いたします。

株式会社 データ・テック イベント紹介

SR定期セミナーを開催しています

当社ではアフターフォローの一環として、SR定期セミナーを開催しております。
SRを導入してくださったお客様を中心に、SRの操作方法から点数を基にどのようにドライバーと話をしたらよいかなど、参加者同士で意見交換が行われます。
体験に基づくアドバイスなども数多くいただいております。

スケジュール

参加には、**事前申込みが必要**です。

	3月	4月	内容
東京 (株)データ・テック 東京本社(大田区 蒲田)	3/14(金)	4/11(金)	○運転診断結果など、 データの見方について
大阪 大阪厚生年金会館 (大阪市 心斎橋)	3/21(金)		○SR導入活用事例 およびQ&A

※イベント日程、会場等は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。

展示会情報

区政60周年

第12回 おおた工業フェア

大田区高度技術・技能展

入場無料

2008年

2月14日(木) 15日(金) 16日(土)

10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

大田区産業プラザ PiO

データ・テック展示内容

SRシリーズ SR Video
SRcomm
SR Pocket

発行: 株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目8番7号K-1ビル8F
(コールセンター) TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7063

<http://www.datatec.co.jp>